

報道関係者 各位

2023. 6. 12
<配信枚数1枚>

草津市が進める健幸都市の実現に向け、学生が地域住民と意見交換

ウェルビーイングワークショップを開催**■「幸せ」を学んだ学生が考える社会とは■**

日時：2023年6月22日（木）16時20分～17時50分

場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス

立命館大学は、滋賀県草津市が進める「健幸都市くさつ」(※)の実現に向け、「ウェルビーイング」をテーマとしたワークショップを、6月22日(木)にびわこ・くさつキャンパスで開催いたします。

本件のポイント

- 「健幸都市くさつ」に関する取り組みや、ウェルビーイングについて学生が学ぶ
- 滋賀県がん患者団体連絡協議会の会長・運営委員の方を講師にお招きする
- ウェルビーイングを通して、これからの生活をより豊かにするきっかけをつくる

本学では、教養ゼミナール(担当:山中司・生命科学部教授)の中で、受講生の興味・関心をきっかけにSDGsを身近な社会課題と結び付けて考えるきっかけづくりを行っています。今年度は、滋賀県草津市が取り組む「健幸都市くさつ」を題材に、昨今注目されている「ウェルビーイング」を意識した授業を展開しています。

今回のウェルビーイングワークショップでは、滋賀県がん患者団体連絡協議会の方を講師にお招きします。がん患者の当事者から闘病当時の様子や普段の生活を伺い、「生きること」「幸せ」とは何かについて、学生たちが考えます。抽象的なウェルビーイングという言葉や、ワークショップを通して自分事として捉え、若い世代なりにアフターコロナを見据えたこれからの生き方やSDGsを意識した活動のヒントを探します。

(※)滋賀県草津市が取り組んでいる市民が生きがいを持ち健やかで幸せに暮らせる新しい都市モデル。

まちの基盤整備や健康産業の振興なども含め、産学公民が連携した健康施策の推進を図っている。

記

日時:2023年6月22日(木)16時20分～17時50分

場所:立命館大学びわこ・くさつキャンパス ラルカディア 310 教室 (滋賀県草津市野路東1丁目1-1)

参加学生:27人(予定)

講師:菊井 津多子氏(滋賀県がん患者団体連絡協議会 会長)

奥井 さよ子氏(滋賀県がん患者団体連絡協議会 運営委員)

進行:上田 隼也 氏(一般社団法人インパクトラボ 代表理事・立命館大学卒業生)

以上

※ご取材いただける場合は、6月21日(水)17:00までに、下記までご連絡をお願いします。

本リリースの配布先: 草津市政記者クラブ

- 取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和

TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsume.ac.jp